後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	消防本部
基本施策	4	暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策名称	3	救急体制の充実・強化		
施策の方向性		●救急出動件数の増加に対応するため、救急体制の再構築を図り、救急隊員の専門的知識の習得や技能を向上させるとともに住民一人ひとりの救急力を高めるなど、救急体制の充実・強化を図ります。		

２．施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	応急手当講習の参加者数	人	目標値		9,000	9,500	10,000	10,500	11,000
			実績値	8,716	8,909	9,828	10,536	11,439	12,610
			達成状況		未達成	達成	達成	達成	達成
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会の開催を見合わせていたため、目標は未達成となりました。
R4	目標は達成しています。コロナ禍で感染拡大防止を図りつつも、講習会の開催を継続的に行った結果といえます。引き続き救急体制の充実・強化を目指します。
R5	ホームページ及び広報誌等を活用し広報したことで、応急手当講習の受講者数は目標達成しています。 しかしながら、効率的な受講の推進を図るために普通救命講習会Ⅰを定期開催（月１回）として試行しましたが、当初、想定していた受講者数には達しませんでした。
R6	目標は達成しています。ホームページ及び広報誌等を活用し広報を行い、また、毎日勤務者（救急救命士）の配置に伴い、平日の救急講習へ積極的に派遣することができたため、実施回数及び受講人数が伸びました。
R7	目標は達成しています。ホームページ及び広報誌等を活用し広報を行い、また、府中町電子申請サービスの利用を開始し、受講申請が容易となったこともあり、実施回数及び受講人数が伸びました。

・評価及び対応方針

R3	応急手当講習の開催方法の見直しを行い、救急体制の充実・強化を図ります。
R4	継続的に応急手当の普及啓発を行い、救急体制の充実・強化を図ります。
R5	令和4年度と比較すると受講者は減少しましたが、町民の要望に対して計画的に講習会を実施し、目標は、達成しています。引き続き、応急手当の普及啓発を行い、救急体制の充実・強化を図ります。
R6	応急手当講習の開催方法の見直しを行い、救急体制の充実・強化を図ります。
R7	受講者の職種や年齢層に応じて、講習内容や開催場所を検討し、より多くの方が実践的な知識と技術を習得できるよう努め、効果的な応急手当の普及啓発を推進します。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　　（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1	救急体制強化事業	5,171	6,084	5,437	4,753	4,714	26,159
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		5,171	6,084	5,437	4,753	4,714	26,159

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略	

事務事業の名称	救急体制強化事業	事業番号	343101
担当部署名	消防本部　　警防課		
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	4 暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策	3 救急体制の充実・強化		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 救急救命士1名の養成を行いました。また、救急車3台に配備している画像伝送装置を活用して、救急患者の容態や情報を事前に収容医療機関に提供し、救急体制の充実・強化に努めました。 ○ 外国人からの通報に対応するため、3者間同時通訳を用いた多言語通訳機能システムを運用しました。 ○ 聴覚・言語に障害を持つ方からの通報に対応するため、Net119緊急通報システムを運用しました。
R4	○ 救急出動件数の増加と高度化する救急に対応するため、当初の計画どおり、救急救命士及び救急隊員並びに指導救命士の養成を行いました。また、気管挿管及び薬剤投与の資格について、各々1名ずつの救急救命士に取得させました。
R5	○ 救急出動件数の増加と高度化する救急に対応するため、当初の計画どおり、救急救命士の養成を１名行いました。なお、三者間同時通話及びNet119緊急通報システムの活用実績はありませんでした。
R6	○ 救急出動件数の増加と高度化する救急に対応するため、当初の計画どおり、救急救命士へ１名及び救急科へ１名養成を行いました。
R7	○ 救急出動件数の増加と高度化する救急に対応するため、当初の計画どおり、救急救命士１名及び指導救命士１名の養成を行いました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	救急救命士養成人数	人	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	増加する救急要請に対応するため、救急救命士養成人数を指標としました。							

４．コスト情報(決算)

（単位:千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	5,171	0	0	0	0	5,171
R4	6,084	0	0	0	0	6,084
R5	5,437	0	0	0	0	5,437
R6	4,753	0	0	0	0	4,753
R7	4,714	0	0	0	0	4,714
合計	26,159	0	0	0	0	26,159

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	令和3年度の目標は、計画どおり達成しました。
R4	当初の計画どおり目標を達成しました。
R5	当初の計画どおり目標を達成しました。
R6	当初の計画どおり目標を達成しました。
R7	当初の計画どおり目標を達成しました。

・評価及び対応方針

R3	引き続き、救急救命士の養成を図り、増加する救急出動件数に対応するため、救急体制の充実・強化に努めます。
R4	引き続き、救急救命士の養成を図り、増加する救急出動件数に対応するため、救急体制の充実・強化に努めます。
R5	救急需要の増大及び多様化に対応するため、今後も救急救命士の養成を行います。
R6	救急需要の増大及び多様化に対応するため、今後も救急救命士の養成を行います。
R7	救急需要の増大及び多様化に対応するため、今後も救急救命士の養成を行います。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	目標は達成しています。コロナ禍で救急件数は微増でした。新型コロナウイルス感染予防対策を継続しつつ、救急体制の充実・強化を図ります。
R4	目標は達成しています。コロナ禍で救急出動件数は昨年より512件増加しています。新型コロナウイルスの感染予防対策を継続しつつ、救急体制の充実・強化を図ります。令和4年度は指導救命士を1名養成しました。令和5年度も引き続き指導救命士を1名養成します。
R5	目標は、達成しています。引き続き計画的に救急救命士の養成を行います。
R6	目標は、達成しています。引き続き計画的に救急救命士の養成を行います。
R7	目標は、達成しています。引き続き計画的に救急救命士の養成を行います。

・評価及び対応方針

R3	引き続き救急体制の充実・強化を図ります。
R4	引き続き救急体制の充実・強化を図ります。
R5	引き続き救急体制の充実・強化を図ります。
R6	引き続き救急体制の充実・強化を図ります。
R7	引き続き救急体制の充実・強化を図ります。